

山行報告書

日時	2023年1月27日(金)～1月29日(日)		天候	曇り時々雪
山名	第5回アゼリア塾 伯耆大山 雪山			
CL	HIRO	参加者	こーちゃん・O山・よっしー・S行・フジ・会員外1名(総勢7名)	
(コース)	弥山荘9:15＝元谷小屋11:50 12:35＝六合目避難小屋手前＝弥山荘16:15(1グループ) (HIRO・S行・会員外1名) 弥山荘9:15＝元谷小屋11:50 12:35＝弥山荘13:45(2グループ) (フジ・こーちゃん・O山・よっしー)			
(コメント)	昨年の晴天とは一転し、大雪が降る中の山行になりました。 これほどの降雪のある中を歩くのは初めてでした。先頭に立ってのラッセルは、本当に大変で、ほんの10m位でギブアップでした。それでも、なんとか元谷避難小屋まで辿り着くことが出来たので、これで満足でした。 弥山荘は、夕食・朝食共に大変美味しく、こちらは大満足でした。(記 こーちゃん) 会社を午後休みにして向かいました。 16時頃に白木原駅をスタートしました。天気は大寒波が押し寄せ、果たして無事大山完登ができるのか不安だったのです。 行く途中の高速では軽トラックが横転して通行止めしています。長尾さんが駆け付け他の人と持ち上げ開通しどうにか23時頃に大山スキー場に到着することができました、入り口付近でテントを張って寝ましたが寒く朝早く目が覚めたら、除雪車が周りで作業してうるさかったです。 スキー場から登山口へ向かってスタートしましたが、雪溜まりにハマって立ち往生です。皆で必死になって雪かきしてどうにか抜け出して登山口まで辿り着きました。登山をスタートして除雪車とすれ違いながら、どうにか大山寺に着き、山頂の向かって行きました。雪深く、アイゼンをワカンに履き替えて奮闘しましたが、最初の避難小屋で折り返すこととなりました。ラッセルが大変で疲れてしまったのです。下山して温泉に浸かり、ビールを飲んで充実感で一杯でした。その後民宿の美味しい料理と暖かい布団に渦巻くも至極の時を過ごしました。帰りもドライブインなどで美味しい食べ物やお土産を買って楽しい時を過ごしました。 特に島根県、鳥取県は初めての訪問でしたので、嬉しいかったです。 メンバーの皆さま同行いただきありがとうございました。(記 O山) 1月25日、10年に一度の寒波でJR京都線の社内に乗客が閉じ込められたニュースを見ながら、大山は中止になるな?と思っていた。 26日のお昼にCLより予定通り実施するとの連絡、家族は心配というより呆れていたが、無理はしないと約束して家を出た。 大山到着は夜中となり、しんと降り続く雪の中でテントを張り宴会。わたしは車中泊が許可されたので熟睡できた。 翌日も雪は止まず、大きな除雪車が動く音で目覚める。駐車場ではハプニングがあったが一致団結して乗り切れて、雪山は登山口までたどり着く事が大変だなと思った。今まで何度も訪れた事がある大山寺あたりの景色が、まるで違う雪国のようになっていて驚いたし感激した。今回ワカンを借りる連絡を忘れ、ラッセルの練習が出来なかった事が残念であったが、ワカンを履いていないとこんなにも歩きにくいのかと良い経験となった。雪山は晴れている時しか楽しくないと思っていたが、風雪に打ちのめされながら、モノトーンの世界の中を歩くのもまた違う楽しさ。寒さで少し感覚がおかしくなったのかもしれない?いやいや、悪天候の中でも安心して雪山を楽しむ事が出来たのは、経験豊富で信頼できるCLや仲間のお陰であるととても感謝している。これからもよろしく願います。(記 よっしー)			

(コメント)

今年は積雪が多く、特に1/24からの10年に一度の大寒波が来たとのことで、想定はしていましたが、2m位の積雪で大変な山行となりました。まず、初日前泊のため1/27金曜夜移動中に高速で軽トラが横転し道をふさいで渋滞となっていたりして、前途多難を思わせました。また前泊後駐車場を出る際、スタックして進退窮まった時は登山自体をあきらめかけました。悪戦苦闘し、何とか皆で力を合わせて脱出できた時はすでに達成感がありましたが、本番はここからでした。。元谷避難小屋を目指してあとは時間を見ながらとのことで出発し、小屋に12時前についてここから下山組とさらに登ってみる組に別れましたが、核心部はここからでした。。当然ノートレースで、久しぶりに胸までのラッセルを3時間ほど経験し、冬山らしい状況を堪能しつつ、(実は半べそかきながら)何とか日が暮れる前に下山できました。頂上までは行けませんでした、気象条件等を考えたら十分活動できたと思います。そして下山後、宿の風呂に入った時の達成感は一ひとしおでした。計画して頂いたCL、SLの方にはお世話になりました。有難うございました。(記 S行)

思ったより雪が多くまた天候不良の為山頂はあきらめ元谷小屋まで行きました。トレースもなく良いラッセルトレーニングになりました。(記 フジ)

広島県の北部からずっと降雪が続き、大山の登山口は例年にはない積雪でした。現地までの往復は順調だったものの、翌朝に駐車場からすぐ前の大きな通りに入る際に、雪で視界が悪かったこともあって、除雪されているように見えた場所で車が乗り上げてしまいました。スコップで除雪していると地元の方が大型スコップ持参で手伝ってくれたため、直ぐに脱出できました。優しさに触れ、感謝の思いでいっぱいになりました。

予定より少し遅れて出発。12時に元谷小屋につきましたが、時間にゆとりがあるので、男性3名で夏道登山道との合流地点に向かうことにしました。新雪、豪雪、トレース無し、急斜面、雪崩危険個所の高巻きと貴重な経験が積めました。

1台の車に7人の大人と冬山装備を載せぎゅうぎゅう詰めでしたが、会話もはずんで楽しい山行になりました。(記 HIRO)



費用概算

交通費+宿泊費 約13500円
(その他/人)

(2019/3/10改訂)